

梶野公園活用計画ワークショップ

ニュースレター第4号

発行：平成20年11月20日

本誌ニュースレターは、梶野公園活用計画ワークショップ各回成果を共有し、次回の準備に役立てていただくため、各回終了後に成果をとりまとめ、次回のご案内とともに、参加者のみなさんに送付するものです。また、各回成果を広く市民に公開するため、小金井市公式ホームページにて閲覧できるように致します。

第4回ワークショップについて

梶野公園活用計画第4回ワークショップは平成20年10月23日、婦人会館にて開催されました(出席者計23名)。第4回では、「活用計画を描こう」ワークの後半戦として、これまでのワークショップの成果をふりかえり、方向性を見定めながら、「基本計画図」をつくるワーキングをしました。「梶野公園活用計画」は、文章主体の「基本方針」と、それを図化した「基本計画図」によって構成します。

基本方針づくり

梶野公園の担う役割
課題点の解決方針
施設づくりの基本的な考え方
管理運営の基本的な考え方

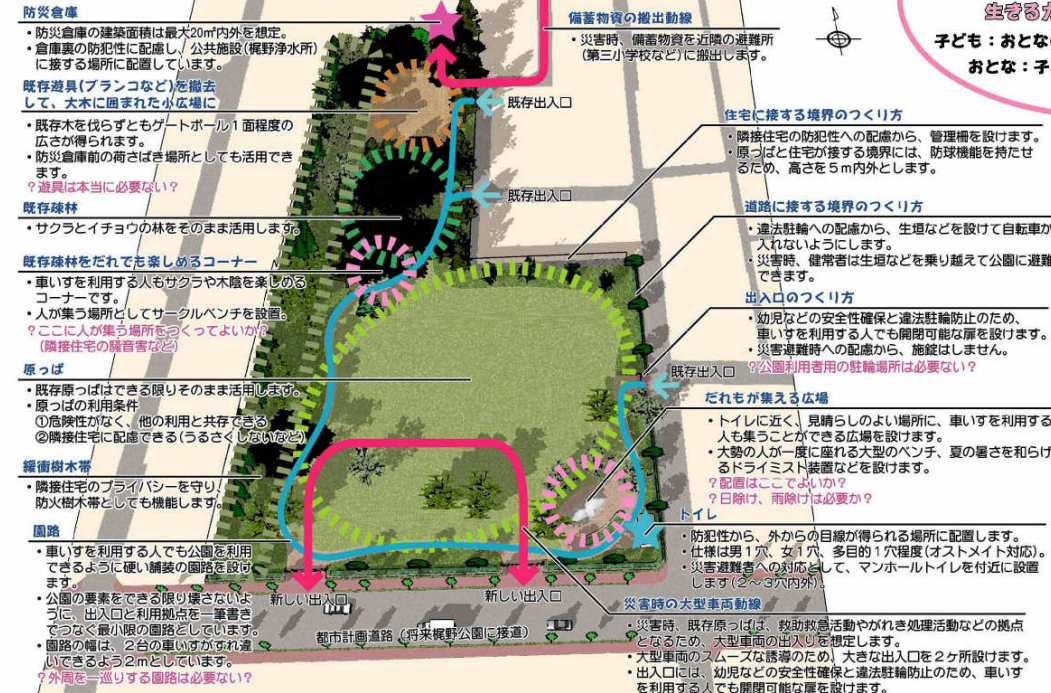
基本計画図づくり

地割り(利用の仕方の組み合わせ)
動線(利用する人の動き)
主要施設の配置
などを平面図に描きます



第4回のテーマ 施設づくりの基本的な考え方 (基本計画図検討案)

第4回梶野公園活用計画ワークショップ 基本計画図づくりワークのための検討案



梶野公園の担う役割として 見えてきた方向性 (基本方針検討案)

みんなが楽しめる
安全・安心
ユニバーサルデザイン
近隣住民への気配り

地域に身近な防災公園
平常時：地域の共助を育む場
災害時：地域の共助の活動拠点

生きるかを与えてくれる公園
子ども：おとなの見守りのもとでのびのび遊ぶ
おとな：子どもたちから元気をもらう

人と出会う

地域交流の場
地域の共助を育む場

自然のままに楽しく遊ぶ

たくさんのお木と広々とした原っぱ
健康増進できる場

おつかれさまアンケートについて

計4通の回答をいただきありがとうございました。今後のワークショップ運営に活かしていきたいと思っております。主な内容を以下に掲載させていただきます(文責はコンサルタント)。

夕方遅くまでご苦労さまでした。お集まりのみなさんも少しずつ前が見え開けてきたように思えてきました。前回までは無我夢中で自分の求めるものだけを主張していたようですが、今回は担当市職員も同じテーブルに付いて下さり、助言を的確に言っていたので、ある程度しぼって考えられるようになった発言が多くなったように思いました。最低限どこまで立案できるかも考えた内容になってきたのでは？公園近隣の住宅には高齢の方がお住まいのようで、それにとれない思いもよらぬ不満が今までにあるようなので、そのへんを考慮した地域内公園としての存続ができたと思います。駅に近いことで、集う人たちが、近所の子どもや大人と限らず元気な若人の集合場所になる可能性も視野に入れなければとも思います。考える内容はたくさんあるのでは!!

- 基本計画図ができていたので話し合いはスムーズだったが、自由な意見というより検討に終始したのが残念だった。基本的に市の管理する公園という前提だったが、利用者がつくっていく公園のようなイメージも大切かと思った。苦情が出ると、市が禁止せざるをえないのも市が管理だからか。住民(市民?)ならば、まず対話になるのではと思い、残念な気持ちがありました。
- 提案されたたたき台の出来が良かったので、この案を元に検討がなされ、かなり具体的な方向性が出せた。道路に面した部分はよいが、民地に面した樹木をあまり大きなものにせず(植え替えなどによる)落葉公害などをなくすることを検討する方向が出た。トイレの位置や周回道路の整備など、緑グループなりの結論が出せたと思う。
- 今回は、だいぶイメージがふくらんできて、各グループとも活発な討論が行われていたように感じました。前回に比べて実のあるミーティングだったと思います。

第5回ワークショップのご案内

第5回では、「活用計画をまとめよう」として、これまでの全てのワークショップの成果をふりかえりながら、活用計画をまとめるワーキングを行います。みなさんぜひご参加下さい!!

日時：平成20年11月27日(木) 19:30~21:30

会場：小金井市婦人会館

■ 梶野公園の作り方について

○ 全般

- (青)・実際にはもっとワイルドな印象になると思うが、概ね検討案でよい。
 - ・やってみなければわからないことが多いので、公園を利用しながら公園の作り方を考える姿勢も大事。つくり育て続ける公園に。
- (黄)・雨水を集めて水やりなどに使う、透水性の舗装を用いる、といった環境にやさしいつくり方をしてほしい。
- (緑)・今ある自然はここだけのもの。自然をそのまま生かした素朴な公園に。
 - ・「自然」にこだわり、人工的な要素はできるかぎり持ち込まない。
 - ・「自然」にこだわり、生物多様性に配慮したつくり方をする。
 - ・この公園の雰囲気損ねるような都市的なデザインは避けたい。

○ 公園の仕切り方

- (赤)・公園の仕切り方は検討案でいい。
 - ・フェンスより植込みの方がいいが、植え込みの高さをよく考えるべき。
 - ・植込みの幅は広くすると幼児の遊び場所になり危険。狭い方がよい。
 - ・今ある芝生広場と疎林広場の間の仕切りはなくした方がいい。

○ 出入口

- (緑)・出入口には、平常時は小さく開き、災害時は大きく開く扉を設ける。

○ 園路

- (赤)・近隣の老人ホームの方が車いすでよく散歩している。車いすでも気軽に公園の中を回れるよう、8の字型の周回園路を設けた方がいい。
- (青)・配置は検討案で概ねよい。
- (黄)・車いすを利用する人のためには、公園全体を周回できる8の字型の園路配置としたい。
- (緑)・車いすを利用する人のため、せめて原っぱの周囲を回れる園路はほしい。
 - ・原っぱをできるだけ残したいので園路の幅は必要最小限に。
 - ・園路の舗装仕上げは、この公園らしく自然な風合いのものにしたい。

○ 舗装広場

- (赤)・あずまや、ドライミストは、整備や維持管理のコストが心配。
- (緑)・検討案のように2ヶ所に設けたい。南側は明るい休憩広場、北側は木陰の休憩広場。

○ 原っぱ

- (黄)・原っぱの魅力を活かしたいので、今のままをできるだけ残してほしい。
- (緑)・原っぱをそのまま残すことが基本。草がはげているところには日本原産の草の種を播く。凸凹しているところには目土をかけて平らにする。
 - ・草はすべてを低く刈り込まず、所々を高めに刈り残して、昆虫などが逃げ込む場所に作る。

○ 北側の疎林広場

- (赤)・既存樹木に影響ない範囲で、ゲートボールもできる多目的な広場に。
 - ・多目的な利用を邪魔しないよう、ゲートボールコートはロープなどを使って地面に線を書いておく程度にする。
 - ・ベンチを置く程度の休憩場所は必要。
- (黄)・ゲートボールもできるみんなが使える広場にしたい。
 - ・ゲートボールなら現状でもできる。開園を待たずさっそく利用したい。
- (緑)・ゲートボールもできる多目的な広場を設けて、お年寄りから子供まで幅広い年代が楽しめるようにしたい。

○ 遊具

- (赤)・何も無いのがこの公園の魅力。遊具は必要ない。
 - ・目玉になるような遊具があればそれをめざして子どもが集まることも考えられるが、どこにでもある遊具を置くのであればいい方がいい。
- (青)・3才を過ぎるころには、自然を相手にした遊びができるようになるが、それまでの幼児には遊具が必要。
 - ・つつい遊具に頼ってしまうが、自然の遊び方を教えてくれるなら、遊具はいらないかも。
 - ・既存ブランコはいつも空いていて、順番を待たず遊べるところがよい。

○ ベンチ

- (青)・ベンチで中高生のカップルがイチャイチャして困ることがある。
 - ・人目が届きにくい場所にベンチを置かないようにする。
 - ・カップルだけで占有できないよう、多人数が座れるベンチにする。

○ トイレ

- (青)・中に住み着く人があると困る。予防策は、常時人目が行き届く状況をつくること。防犯カメラを置くことも効果があるのでは。
 - ・トイレの中、おむつ替えをする台があると便利。
 - ・女子用は2穴ほしい。

- (黄)・風通しと見通しをよくするため、南側都市計画道路から若干北側にずらして配置したい。
 - ・平常時、災害時ともに、検討案の穴数の設定では足りないと思う。
 - ・蛇口にはいたずら防止対策を施してほしい。
- (緑)・「1ヶ所です十分」という意見と「2ヶ所ほしい」という意見があった。
 - ・南側都市計画道路から目立ち過ぎないように若干北側にずらして配置。

○ 駐輪場所

- (青)・駅前のため不法駐輪の問題はあるが、来園者用の駐輪場所は必要。現状では公園の一角に駐輪している。
- (黄)・来園者用の駐輪場所は必要。
 - ・北側疎林内の奥まった草地の上に自転車置いてよい場所を設定。
 - ・不法駐輪の心配があるので、やってみてマナーが守れないようならすぐに切り替えられるよう、しっかりした駐輪場はつくりたい方がいい。

○ 電気設備

- (黄)・夜間照明の配置を知りたい。
 - ・災害時を考慮してソーラー電源を用いた照明器具があるといい。
 - ・昔はここで盆踊りをしていたことがある。今後も地域のイベントを開催する可能性があるため、催事用の電源盤を設けてほしい。

○ 防火水槽

- (赤)・防火水槽の設置場所は、公園の入口付近がよい。

○ 植栽

- (緑)・この公園のイメージを損ねるので、町なかのような花壇はつくりたくない。花壇をつくるなら、公園の雰囲気にあった野の花を用いたものに。
 - ・都市計画道路にも街路樹を植えるとなると、公園側に植える樹木とのバランスを考える必要がある。
 - ・住宅の近くにある既存高木は間引きをして、代わりに将来大きくなっても住宅側に支障のない位置に新しく樹木を植えるとよい。

■ 梶野公園の運営について

○ 遊び

- (黄)・既存の樹木を使った自然遊びができるコーナーをつくりたい。プレイリーダーがいると安心。
 - ・たき火ができるといい。炊き出し訓練にもなる。
- (青)・リスクを伴う遊び(よじ登る、飛び降りるなど)は子どもの意欲や成長を促すので、単純に「危険な遊びはだめ」とするのはよくない。
 - ・子どもが危ないことをしていたら注意してやるような「人目」も大事。
 - ・子どもどうし、親どうして遊び方を教え合う仲間づくりが大事。
 - ・親も自然を相手にした遊び方を知らないため、はじめのうち原っぱには「何も無い」と感じ戸惑ってしまう。まわりの子どもたちやお母さんといっしょに遊ぶうちに、段々と遊び方に気づいてくる。
 - ・プレイパークの既存団体を招いて親子に遊び方を教えてあげるといい。
 - ・子どもを公園に呼び込むための大人の組織づくりができるとよい。
 - ・子どもを見守る大人が常駐できるといい。三小の放課後子どもプランを活用できないか。
 - ・地域の理解も必要。近隣住民の方々も参加していただけるといい。
 - ・年配の方にも昔遊びを教えてくださいたい。

○ キーワード「人目」

- (青)・「人目」を行き届かせることが、安全・安心確保の条件。
 - ・「人目」のためには、公園を横切るだけの人でも役に立てる。

○ キーワード「気配り」

- (青)・「止める」とは言いにくい、挨拶程度の声かけでも、相手に「気配り」を促す上では十分効果がある。
 - ・禁止事項をひとつひとつ列記するより、「迷惑行為を禁ずる」とだけ記載して、「迷惑行為」を幅広く解釈できるようにした方が対応しやすい。
 - ・拡声器やスピーカーの使用は禁止する。

○ 夜間の迷惑行為(花見で騒ぐなど)の防ぎ方は「？」

- (青)・夜間の照明設備が整えば、人影がしっかりわかるくらい明るくなる。
 - ・夜間の防犯性は高まるが、迷惑行為は逆に増えてしまうかも。
 - ・花見で騒ぐのは、地域に関係のない大学生のグループが多い。

○ 市民による活動組織の立ち上げ

- (青)・公園内を清掃する集まりをつくると、環境美化とコミュニケーションが両立できてよいのでは。市のサポーター制度を活用することもできる。
- (黄)・ボランティア活動やプレイリーダーを育てることで、行政の管理負担を軽減できると公園をよくしていける。
 - ・ボランティア活動を受け入れる体制づくりが必要。